

ようこそ



福山百景へ

鹿児島県立福山高等学校 第34回文化祭 平成30年10月27日



数多くの作品が寄せられました。ありがとうございました。「福山百景通り」の左手から順番に紹介いたします。

未来の惣陣が丘(屏風絵) 高橋堯志様&福重和哉様(福山)



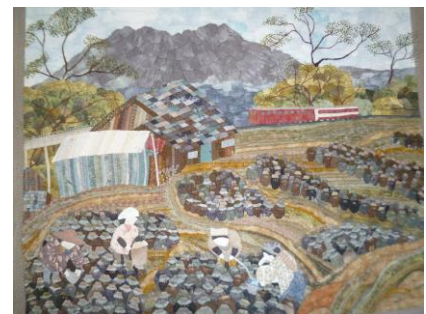
予想もしていなかった大物が届いてしまいました。未来の惣陣が丘を描いた屏風絵です。屏風(襖)の部分を制作されたのが高橋さんで、絵の方は福重さんの作だということです。惣陣が丘の頂上には、お城もあれば、遊園地の観覧車のようなものも見えます。五重塔や店舗か何かも見えて、随分欲張りです。パラグライダーで飛んでいる人もいます。現在の惣陣が丘も眺めは絶景ですし、500メートルかそこらの軽い登山で済みますので、是非散歩がてら登頂してください。

随筆「福山のパークゴルフで健康長寿を楽しむ」 白鳥明信様(曾於市末吉町)

福山のパークゴルフ場は2020年の鹿児島国体の公開競技パークゴルフの会場にもなっております。白鳥さんは、これまで入院4回、手術3回経験されましたが、今ではパークゴルフのお陰もあってか、健康で快適な毎日を送られているということです。

「酔作りの街」(壁掛け装飾(タペストリー)) 中居あつ子様(長野県伊那市)

酔の街福山の酔作りの風景を描いたタペストリーです。秋のあまん壺の仕込みでしょうか、一つ一つの壺が丁寧に描かれ、数字まで刻まれています。旧国鉄大隅線の2両編成の列車が、そしてさらにそのはるか向こうには桜島も見えます。錦江湾の荒波や空との境界もくっきりと、そして住居の一枚一枚の瓦も壺同様細かく縫い付けてあります。当時の酔の仕込みは主に女性の仕事だったのででしょうか。家庭的な雰囲気も感じられます。



【牧之原小学校】 絵画36点 新聞3点



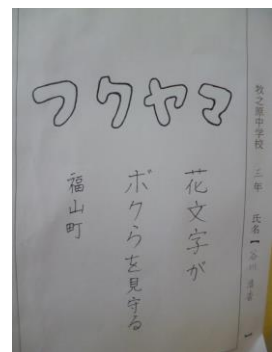
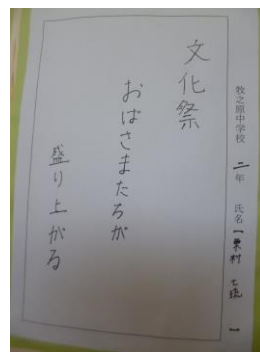
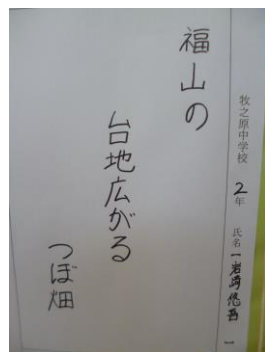
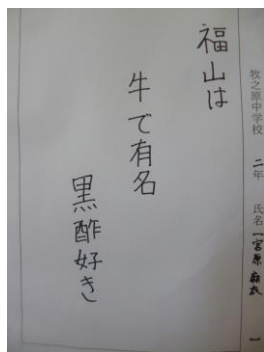
牧之原小学校からは、福山に関わりのある絵画や新聞を提供していただきました。牧之原の緑の自然を描いた2年生の素朴な絵が素敵です。福山愛あふれる作品たちです。3年生になると、一段と細かな描写が精緻になります。福山は畜産の町なんだということを再認識させられました。そして、4年生は学校の校舎を中心に描かれており、意外な構図や大胆な色使いが見事です。成長する子どもたちも素晴らしいですが、それぞれの輝きがあります。

5, 6年生になると、さらに大胆かつ繊細になります。色彩的にも幾分深みを増したようにも思われます。それにしても、5年生の和牛新聞には驚かされました。牛との触れ合いを新聞仕立てにしようという発想の勝利でしょうか。牧之原小学校の皆さん、福山愛溢れる作品の数々、ありがとうございました。これからも、みんなで力を合わせて、福山を大いに盛り上げていきましょう。



【牧之原中学校】 詩42点

さすがに、中学生になると、ちょっと余裕と言いますか、皮肉も効いてたりして面白いですね。ユーモラスな自虐の入った作品もあります。でも、牧之原、福山に対する愛着は変わりません。福山は冬寒いけれど、溢れんばかりの自然に恵まれています。夏のヒグラシの迫力は特に絶品だと思います。そう言えば、先日早朝突然ウグイスが鳴き始めました。春を告げるには随分早すぎるような気がします・・・。



次に右側の展示を紹介していきます。じっくりご覧ください。

絵手紙集19点 豊廣良子先生(福山公民館)



福山公民館の絵手紙教室の皆さんから多くの作品が寄せられました。「福山から見るのが世界一」と書き添えられた桜島の絵の下に、野菜や果物を描いた絵手紙が19点も展示してあります。中には、何故か一つだけ犬の絵もあります。さらに、よく見ると、黒酢の壺を描いた作品も2点あります。いわゆる「あまん壺」です。福山の豊かな自然と同様、お酢も福山にとって切っても切れない関係にあります。素敵な絵手紙の数々ありがとうございました。

世代超え“地域愛”～2014年2月18日南日本新聞ふるさと新聞 黒丸トキ様(福山)

南日本新聞のふるさと新聞のコーナーで牧之原地区が取り上げられた時の記事です。「ふっぎやまぼっけもん」会の皆さんが写真付きで紹介されています。「地球愛」とは、さすがにスケールが大きいですね。「地球愛」の一つが、「ぼっけもん」会の皆さんが丹念に手入れされている惣陣が丘であり、「フクヤマ」の花文字なのでしょう。「地球愛」、もちろん今も福山に息づいています。当時の福山高校生徒会長の川畑さんのことにも触れてあります。



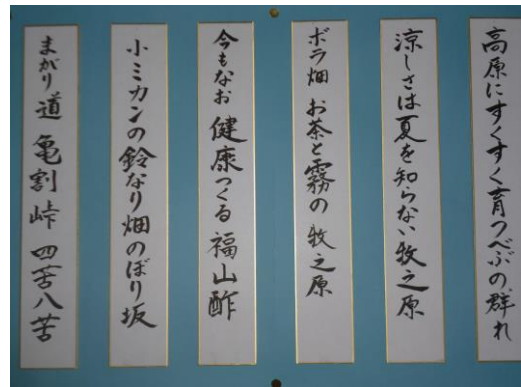
**肥満腹(どんべばら)痩せかたち言が(やせたかちゆが)飯しゃ鶺呑ん(めしゃぐのん)(薩摩狂句)
豊原富春様(福山)**



NHKの「ひるまえクルーズ」の薩摩狂句コーナーで、7月の優秀作品に選ばれた作品ということです。耳の痛い、身に覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。食欲の秋です。ご飯が進む季節です。痩せるのは、先送りにしてもいいのでは…。

**高原に すくすく育つ べぶの群れ(俳句6句)
太良木利秋様(始良市)**

「福山百景」の新聞記事を目にして、感激して送ってくださったということです。いただいたこちらの方こそ、大感激です。福山に縁のある方のように、福山のこと、牧之原のこと、よくご存じです。ボラ畑とは何でしょうか。宮崎では、生産直売する所を畑ボラと言うそうですが…。



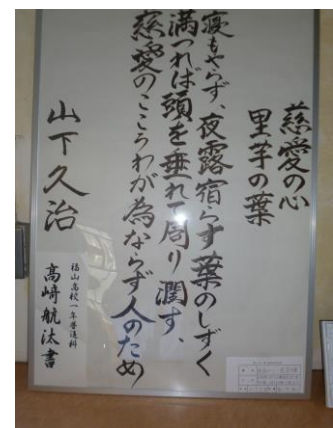
校門に 一礼の子や 小鳥来る 大富勝己様(国分中央)



朝の登校時など、校門から入る前に一礼をする、という光景は現在の福山高校には見られませんが、玄関前に待ち受けている職員との朝の挨拶ややり取りが毎日の朝の風景になっています。小鳥たちは、毎日のように中庭の木立にやって来ます。カラスやスズメは年がら年中、ウグイスやホトトギス、たまにアカショウビンも美しい声を聞かせてくれます。校門での一礼、学び舎への敬意として大切なことかも知れませんね。

慈愛の心 里芋の葉(詩) 山下久治様(福山)

山下さんよりご提供いただいた詩を、福山高校1年普通科高崎航汰君が書にしてくれたものです。この詩は、全国規模の賞を取られた作品です。夜露をいっぱい貯めた里芋の葉、余りにも重たくなって首を傾げると周りの地面を潤すことになる。葉に潤いをもたらす夜露(慈愛の心)はまた周囲を潤し、幸せにするものである。慈愛の心は、自らのために期待するものではなく、みんなを幸せにするものである、ということでしょうか。この詩と書は福山文化祭でも展示していただきました。



アマン通り(福山名所めぐり) 豊廣良子先生(福山公民館)



「アマン」とはもちろん「お酢」のことです。福山の名所旧跡を絵手紙風の冊子にして紹介してあります。福山公民館の教室の皆さんの作品集のようです。「福山百景通り」に入って、すぐ右手の机の上に置いてあります。柔らかい和紙のような繊細な手触りですので、優しく丁寧に取扱ってください。

福山百景(一部) 岩切隆宏(画伯)(福山高校事務室)

今回の福山百景の企画のきっかけとなったのが、岩切画伯の絵です。左上の絵は第2作だと思われませんが、福山百景の話が持ち上がった際の作品です。遠藤校長の提案に、パワハラではないかという愚痴一つこぼさず、夜遅くまで事務室で描かれたのが、他の3点です。福山高校生が関わった行事が上手にまとめられています。



上之段の秋&若尊鼻の夕景(水彩画) 富吉孝雄様(福山)



牧之原から国分方面へ少し下った所にある上之段の美しい田園風景と遠くに桜島を望む若尊鼻からの夕焼けの錦江湾が心に染みいります。上之段は福山ではないかも知れないけれどと仰いましたが、牧之原に繋がる田園地域です。

ここから福山各地の様子を写真で紹介します。

福地・福沢地区

福地小学校、福沢小学校の古い写真と福地の広田牧場からの風景写真です。小学校の方は、白黒ですので50年以上前のものかも知れません。広田牧場からは、錦江湾や国分平野が望め、また霧島連山を遠くに眺めることもできます。緑の牧場は、鹿児島とは思われないくらい広大なようです。写真の提供は、赤石透さんです。



比曾木野・佳例川地区



比曾木野小学校の運動会の鼓笛隊の様子も随分古い写真のようです。佳例川飯富神社の見事な紅葉は赤石透さんの提供です。佳例川に魅せられた福山高校PTA会長の鈴木和弘さん、そして本校職員佐久間健士教諭の写真もご覧ください。

惣陣が丘

眺望絶景の地惣陣が丘です。惣陣が丘は、1561年島津と肝付が衝突した由緒ある地です。福山高校後援会の吉松五十夫さんの写真3点、そして福山高校遠藤校長の1点ご覧ください。吉松さんは惣陣が丘の歴史について書かれた貴重な文書もお届けくださいました。こちらもご覧ください。



牧之原地区

牧之原の随分昔の写真があります。左側に位置しているのが福山高校でしょうか。旧牧之原高校と言うべきでしょうか。牧之原の運動会の様子も随分古い写真です。相撲大会の様子は、牧之原中学校の玉利校長先生でしょうか、鈴木PTA会長の提供です。行司は福山高校PTA顧問の田平さんのようです。鮮やかな日没は福山高校の寺田事務長、パークゴルフは鈴木PTA会長の写真です。この他、福山高校3年商業科の幸山侑生さん(国分南中出身)、遠藤校長の写真もあります。是非ご覧ください。



中茶屋公園(日本百景展望所)



知る人ぞ知る、日本百景展望所中茶屋公園です。福山漁港、宮浦宮から牧之原へ上がる坂の途中にあります。中茶屋公園から見える桜島、錦江湾は絶景です。濱田恵子さん(鹿屋市)は3つの時間帯の桜島と錦江湾の色鮮やかな写真を提供してくださいました。福山高校職員の佐久間教諭と遠藤校長の桜島も見事です。

宮浦宮

夫婦イチョウで有名な宮浦宮です。火災や戦乱、台風など幾多の苦難を乗り越えて、逞しく生きてきた2本のイチョウです。宮浦宮は、創建は不明ながら、数多くの言い伝えのある歴史ある神社です。赤石透さんのイチョウの葉の絨毯の敷き詰められたような晩秋の宮浦宮と本校職員の佐久間教諭の風情ある初秋の佇まいをお楽しみください。



旧田中家別邸



田中省三と言えば、海運業で財をなし、私立福山中学を創建するなど、明治大正昭和の時代に活躍した福山を代表する偉人だそうです。最初は教職の道を志すのですが、挫折して海運業で成功することになります。そして晩年に教育への関心が甦ったのか、私立福山中学を作ったということです。そのあたりのいきさつは詳細に資料として添付されています。この資料は國師キヨ子さん(福山)がわざわざ作成してくださいました。赤石透さんと本校職員佐久間教諭の様々な季節の旧田中家別邸ご覧ください。

黒酢

福山と言えば、黒酢。黒酢の壺の写真はやはり欠かせません。赤石透さんは3つの写真を提供してくださいました。国鉄大隅線が通っていた時代のもの(中居さんのタペストリー!), 春の仕込みの様子、雪化粧したあまん壺と桜島、どれも見事です。福山高校のALTのジョニーもあまん壺に惹かれたようです。壺の表面のざらざらした感触が伝わってきそうです。



福山港周辺



福山港の古い写真が届きました。旧福山町の役場は、海岸沿いにあったのです。樋脇節雄さん(福山)は12枚もの福山港周辺の写真を出してくださいました。福山高校ALTのジョニーのさりげない釣り人と本校職員佐久間教諭の桜島を正面に見た釣り人と併せてご覧ください。

桜島その他

赤石透さんは、いろいろな時代の、そしていろいろな時間帯の桜島の写真を4点届けてくださいました。4枚目の「たぎり」はちょっと珍しい写真なのではないでしょうか。始良カルデラの名残なのではないでしょうか。福山高校ALTジョニーのサンセット(夕日)も素敵です。



福山の海岸線



大昔の写真がまたまた登場です。およそ日本とは思われないような・・・古き良き時代と言っているのでしょうか。赤石透さん、福山高校ALTジョニー、そして福山高校佐久間教諭の写真もお楽しみください。

福山の海岸線から牧之原

赤石透さんの「霊峰高千穂峰と北極星のハーモニー」は通常の写真のレベルを超えています。正直よく分かりません。でも、幻想的で神秘的な世界を感じることはできます。「光る(桜島)」は太陽と桜島が絶妙のタイミングでコラボレーションしています。これも赤石さんの写真です。そして、凄まじいのが、福山の海岸線から牧之原までの名所を順番に収めた本校職員牛飼先生の作品です。通勤途中のお仕事のように。



作品をお寄せいただいた皆様、観覧いただいた皆様、大変ありがとうございました。よろしかったら、「福山百景」をご覧いただいた感想をアンケート用紙にご回答ください。福山高校は地域とともに今後さらに発展してまいります。これからもよろしくお願いいたします。